

買物で社会を より良くする。 大げさじゃなく、 できるんです。

私たちが普段買物で手に入れているものは、もれなく全部、誰かがどこかで作って、運んできてくれたものです。しかし、それらがどのように生まれ、処分されているか、私たち消費者は知っているでしょうか？もしかしたら、今あなたが手にしている「安い」、「便利」、「快適」なものは、生産や廃棄・処分の過程で、人や社会や環境に負担をかけているかもしれません。

「エシカル消費(倫理的消費)*」とは、そういった負担や犠牲の上に成り立っているものではなく、フェアトレード商品、エコ商品、リサイクル商品、被災地産品、寄附付き商品、地元産品、伝統工芸品、障害者支援商品など、人や社会、環境のことに配慮して作られたものを積極的に購入・消費すること。

私たちはモノを通じてつながっています。買物は、地球温暖化や熱帯雨林の減少などの地球環境問題、貧困や児童労働などの社会問題と深く関わっています。私たちは日々の暮らしの中で、買物を通じて、社会問題解決の一端を担うことができます。

今すぐに。誰にでも。

*地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動(消費者基本計画)



エシカル消費 ガイドブック

Contents

- 03 「エシカル消費」って知っていますか？
- 05 なぜ、今エシカル消費なの？
- 06 エシカル消費が世界を変える！
- 07 身近でかんたん！エシカル消費
- 11 考えてみよう！エシカくんのエシカルな一日
- 13 山口県での「エシカル消費」への取組

※本ガイドブックに掲載の写真は全てイメージです。

今すぐできる、
誰にでもできる、
社会貢献。

何をかうかを
シッカリ考える！

エシカル消費ガイドブック
ナビゲーター

エシカくん

常にエシカルのことを考えているため、地球に優しい緑色をしている。YAMAGUCHIの頭文字「Y」の形をした角と、エシカルの「e」の模様を、耳とおなかに持つ。



「エシカル消費」って 知っていますか？

「エシカル(ethical)」とは、「倫理的・道徳的」という意味。
エシカル消費とは、環境、人や社会、地域に
配慮して作られたものを積極的に購入する、
思いやりのある、“やさしい消費”です。
買物をする際、品質や価格などと同様に
「モノを選ぶときの尺度」として取り入れることで、
社会貢献につながるのです。



エシカル消費を実践する意義

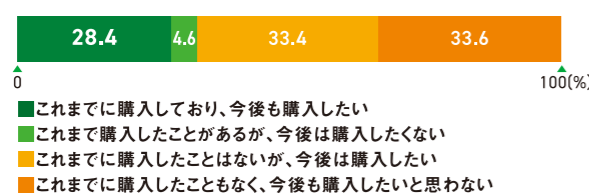
日本のCO₂排出量の約25%が家庭や自家用車から、食品ロスの半分近くが家庭からの排出によるものです。また、海に流出したペットボトルなどのプラスチックが海の生き物に被害を与えたり、多くの食品や化粧品などに使われているヤシ油を私たちが大量に消費することで、生産地の環境破壊や生産者の人権を損なうことにつながっています。つまり、これらの対策には、消費者の意識の転換と家庭での取組が重要といえます。消費者が商品・サービスを選択する際に、安心・安全、品質、価格といった既存の尺度だけでなく、エシカル消費という第四の尺度を持つことで、「安さ」や「利便さ」の裏にある様々な問題を意識することにつながるのです。



エシカル消費に対する 消費者の意識

消費者庁の調査によれば、エシカルな商品・サービスの提供が企業イメージの向上につながると考える人の割合は約7割で、エシカルな商品・サービスの購入の意向がある人の割合は約6割となっています。また、既に購入経験がある人の割合は約3割(図-1)で、商品別に見ると、食料品、その他生活用品、衣料品、家電・ゼイタク品の順に高くなっています(図-2)。エシカルな商品・サービスに対して、通常の商品・サービスより割高でも許容できると回答した人の割合は約6割となっています(図-3)。

図-1 エシカルな商品・サービスの購入状況・購入意向



資料:消費者庁「[倫理的消費(エシカル消費)]に関する消費者意識調査」

図-2 エシカルな商品・サービスの購入状況

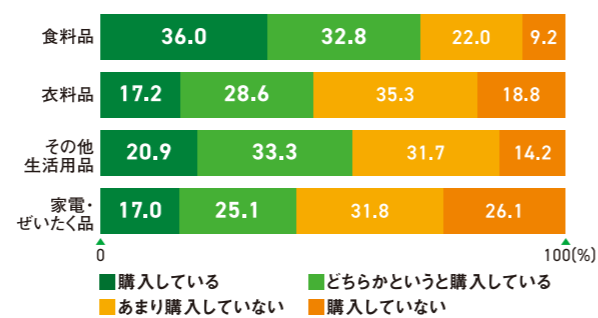
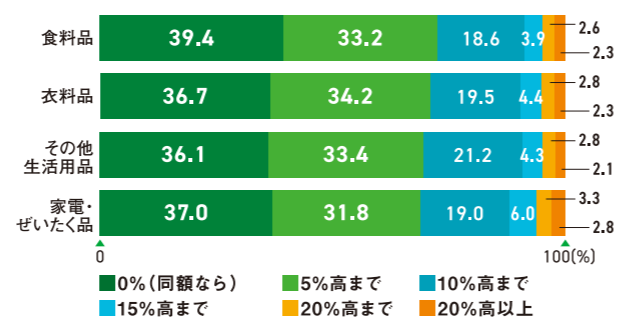


図-3 エシカルな商品・サービスの購入許容金額



エシカル消費の分類イメージ

やさしい消費、
それがエシカル消費
なのです!



1 環境にやさしい消費

例えば...

- 自然エネルギーの利用
- グリーン購入
- 有機農産物の購入

【資源の保護、地球温暖化防止】



環境への負荷が
少ない商品を選ぶ!

詳しくは
→ p07

2 人や社会にやさしい消費

例えば...

- フェアトレード商品の購入
- 福祉施設で作られた製品の購入
- 寄附付き商品の購入

【障害者や開発途上国の生産者を支援】



みんなが暮らしやすい
社会に役立つ商品
を選ぶ!

詳しくは
→ p08

3 地域にやさしい消費

例えば...

- 地産・地消
- 地元商店での買物
- 伝統工芸品の購入

【環境負荷の軽減、地域の暮らしを応援】



地域の活性化に
つながる商品を選ぶ!

詳しくは
→ p09

なぜ、今 エシカル消費なの？

社会全体のグローバル化が進む中で、私たち消費者は、国内はもちろん世界各国から様々な商品を手に入れるできるようになりました。そんな商品を誰がどのような環境でどのように生産し、私たちが使用した後、誰がどこでどのように処分しているのか、私たちはよく知りません。私たち消費者が手にする商品の背景には、様々な社会問題をはらんでいることがあり、とりわけ開発途上国では、貧困や飢餓、児童労働や環境破壊などの問題が深刻化しています。そのような社会的背景を考え、私たち消費者は商品を購入する前に、「どんな人たちが作ったのか」「どのように作られたか」「環境や社会にやさしいか」など、様々な配慮をしながら消費行動を起こす時代になってきているのではないのでしょうか。



消費に関わる主な社会問題

地球温暖化

地球温暖化が原因と思われる集中豪雨、大型台風、干ばつなどの異常気象による災害等が世界各地で頻発しています。かけがえのない豊かな地球を未来へ引き継いでいくために、省エネや再生可能エネルギーの利用など、身近なところから地球温暖化防止への取組を始めていくことが大切です。



食品ロス

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、「食品ロス」が日本では年間600万トン以上にも上ります。そのうちおよそ半分約300万トンが家庭から捨てられています。必要な食品を必要ときに必要な量だけ購入する、使い切る工夫をすることで、食品ロスを削減することができます。



フードマイレージ

食料輸送に伴う環境負荷を計算したものです。日本は自給自足で補えない部分を輸入に頼ることにより、国民1人当たりのフードマイレージが世界的に見ても高い数値になっています。比較的輸送費がかからない地産・地消に取り組むなど、身近なところから心掛けましょう。



途上国の貧困や児童労働

私たちが「安い」と思い買っているものの背景には、開発途上国で劣悪な労働環境・低賃金により作られたり、児童労働により生産されたりしたものもあります。そうしたことを理解し、フェアトレード商品など、生産者の生活や環境を守る商品を購入することで、不公平な社会を変えていくことができます。



エシカル消費が 世界を変える！

私たちは、商品やサービスを自ら選択し購入することができます。日本経済全体(GDP:国内総生産)の約6割が家計の支出と考えると、消費者が社会に与える影響力は決して小さいものではありません。「価格」だけでなく、エシカルな観点から商品を選ぶことで、環境、人や社会、地域にやさしい商品やサービスはさらに社会全体に広がっていきます。地元や被災地で作られたものを選ぶことも重要なエシカル消費の一つです。あなたの消費行動によって、世界の未来は少しずつ変えることができます。その一步一步が、きっと素敵な未来を作り出してくれるでしょう。



はじめよう! エシカル消費 ~消費を通じてより良い社会へ~

2015年9月の国連持続可能な開発サミットで採択された、世界中の国が共通して解決しなければならない課題を示したSDGs(エスディーゼズ)(持続可能な開発目標)。その中でも、ゴール12「持続可能な生産消費形態を確保する」は、生産から消費・廃棄までのライフサイクル全体を通して、天然資源や有害物質の利用と廃棄物や汚染物質の排出を最小限に抑えることを目指しています。「持続可能な消費」には多様な概念が含まれますが、その一つとして、「エシカル消費(倫理的消費)」が注目されています。

SDGs(エスディーゼズ)(持続可能な開発目標) 17の目標



世界を変える17の目標の目標12はエシカル消費にもつながる考え方!



身近でかんたん! エシカル消費

1 2 3

「エシカル消費」は大きく分けて3タイプ。自分にできることから実践してみよう!

1 環境にやさしい消費

■グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することを指します。消費者の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促します。



■国産材の使用・森林保全につながる木材製品の選択など



国産材が使用された製品や、合法性・持続可能性が証明された木材・木材製品の積極的な利用は、持続可能な森林経営を支援し、地球温暖化の防止や、土砂災害の防止・緩和の効果があります。

■有機農産物の購入

有機農産物は、自然環境との調和を大切に、環境保全に配慮し生産された農産物のことです。これらを積極的に購入することで、土壌と生態系の保全につながります。



■車のレンタル・シェア

レンタカーや、複数人で車を安価で共有できるカーシェアリングを利用することで、車の数や、車を利用する機会そのものが減り、CO₂の排出量を大幅に低減できます。



シェアしてエコ&経済的!!



■自然エネルギーの利用

太陽光、風力、地熱、水力などの自然エネルギーは、化石燃料のように温室効果ガスであるCO₂を発生させないため、クリーンなエネルギーと言えます。特にソーラーパネルは、家庭でも設置可能で、災害時や停電時など、非常用電源の確保にもなります。



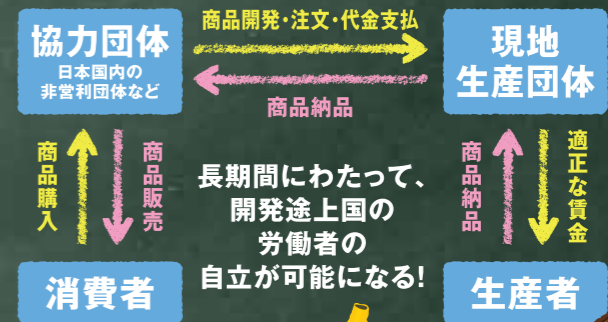
2 人や社会にやさしい消費

■フェアトレード商品の購入

フェアトレード(公平貿易)とは、開発途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者のより良い暮らしを持続的に支える仕組みです。フェアトレードの基準には、その他にも、労働環境の改善、自然環境への配慮、地域の社会・福祉への貢献などが含まれています。



フェアトレードの仕組み



■福祉施設で作られた製品の購入

障害のある方々は、地域社会において自立した生活が営めるよう、福祉作業所や障害者施設、地域共同作業所などでパン、ケーキ、雑貨などを作り販売しています。障害のある方々が作った製品を購入することは、彼らの支援と自立への後押しにつながります。



■寄附付き商品の購入

商品購入代金の一部が地域貢献活動などに寄附される商品のことをいいます。自分が欲しい商品を購入するだけで社会貢献ができるので、寄附をためらってしまう人でも手軽に継続して行うことができるエシカル消費の一つです。



人や社会にやさしいものを選んで購入するのは、なんだか気持ちがいいね!



3 地域にやさしい消費

■地産・地消

地域で生産された食用の農林水産物を、その生産地域において消費するという取組を指します。地産・地消は、どの生産者がどこで作ったか分かる食材を、とれたて新鮮な状態で購入できるだけでなく、生産地から消費する場所が近いいため、商品移動時の環境負荷も低くなります。また、生産者からおいしい食べ方を教えてもらうなどの交流につながるほか、地元の食材を購入することで、農林水産技術が地域に根付き、技術の保全になることも地産・地消のメリットです。



■地元商店での買物

ネット通販の普及や、大型スーパー、大型ショッピングモールの建設が進む近年、数は減りましたが、今も商店街などで人情あふれる商売を行う店舗が残っています。そういった店舗で買物をするのは、商店街の振興など、地域の活性化につながります。さらに、地元商店街での買物は、地域の人とふれあうきっかけにもなり、暮らしを豊かにしてくれるメリットもあります。



■伝統工芸品の購入

社会全体で近代化・国際化が進み、安価な工業製品が広く出回る中、伝統工芸品を購入・利用していくことで、伝統手法の技術の継承や能力向上が期待できます。また、良質なものを長く利用することは、余分なごみの削減にもつながります。



■応援消費

人や企業、地域などを応援するためにものを購入する消費を指します。特に近年では、売上の一部が被災地の義援金に回る商品や、被災地で生産されたものの購入など、被災地支援につながる消費行動を積極的に行おうとする動きが広がっています。応援消費は、直接的な支援だけでなく、風評被害による経済的な二次被害を防止する役割をも果たしているのです。



地元のものを買って
地域に貢献するなんて
なんかうれしいなあ

エシカル消費の第一歩。 認証ラベルを 買物の参考にしてみましょう！



エシカル消費につながる“よくだいモノ”に与えられる認証ラベル(一部)

FSC® 認証



森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかなない、経済的にも持続可能な形で生産された林産物に与えられる認証ラベル。

GOTS 認証



オーガニックのコットン、ウール、麻、絹などの原料から、環境的・社会的に配慮した方法で作られた繊維製品につけられる認証ラベル。

国際フェアトレード認証



生産者への適正な価格の支払い、労働環境保護、農業使用規制等の国際フェアトレード基準をクリアした製品につけられる認証ラベル。

レインフォレスト・アライアンス認証



森林や生態系の保護、土壌や水資源の保全、労働環境の向上など、基準を満たした農園由来の製品につけられる認証ラベル。

RSPO 認証



熱帯林の保全、生息生物の多様性、人々の暮らしに深刻な悪影響を及ぼさない適切な農園管理で生産されたパーム油であることを示す認証ラベル。

COSMOS 認証



エコサートを含む国際的な5社が定めたオーガニック、ナチュラル化粧品品の認証ラベル。

MSC 認証



持続可能で、環境に配慮した漁業により獲られた天然の水産物に与えられる認証ラベル。「海のエコラベル」とも呼ばれる。

asc 認証



自然環境への負荷を最小限に抑え、社会的な面でも責任ある経営・管理を行なっている養殖場で生産された水産物に与えられる認証ラベル。

エコマーク



生産から廃棄にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた製品につけられる認証ラベル。

伝統マーク



経済産業大臣が指定した、地域に根付き、継承されている技術や技法、環境にやさしい原材料で作られた伝統的工芸品につけられる認証ラベル。

有機 JAS



農業や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料及び畜産物につけられる認証ラベル。

やまぐちブランド



山口県で生産される農林水産物及び主な原材料が山口県産100%の加工品を対象に、味や品質を重視した独自の基準を設けて厳選し、登録した商品につけられるマーク。

月 日 () 日直 エシカ

考えてみよう! エシカくんの/ エシカルな一日

ETHICAL QUESTION エシカルな消費ってどんなもの?

僕の一日をクイズ形式で紹介するよ。AとB、どっちがエシカルな消費か考えてみてね!

問 1 今日も元気に過ごすために、朝ごはん! 食べ方はどっちが正解!?

A  おいしゅうございました。

B  ゲフッ... 朝から張り切って作りすぎたみたい... もったいないけどもう限界!

答 家庭や飲食店で食べ物を残さないことはエシカル消費の一つ。残さず食べることで、ごみの量を減らすことにつながります(食品ロスの削減)。全部食べられそうにないと思ったら、ごはんを小盛にするなど、前もって対策を立てておきましょう。【正解はA】

問 2 いざ出勤。さて、今日はどっちに乗って行こうかな?

A  朝はちょっと渋滞するけど... 自慢のマイカーでGO。ドアtoドアで楽ちん!

B  車窓からの景色を眺めながら電車出勤。時間がかかっても正確で安心!

答 自家用車より、公共交通機関や自転車を積極的に使用する方がCO₂を削減でき、エシカルな行動といえます。また、会員間で車を共同使用する「カーシェアリング」も近年注目されています。短時間から手軽に使用できるので、選択肢の一つとして覚えておくのも良いでしょう。【正解はB】

問 3 ちょっとティーブレイクしよう。さて、どっちのお茶を飲もうかな?

A  ほっと一息... お気に入りのマイボトルで飲むとお茶がおいしく感じるなあ♪

B  おや!? ちょっとラクして紙パックのお茶を飲んじゃおう。おや、このパック、リサイクル製品なんだ!

答 普段何気なくコンビニなどでペットボトル飲料を購入していますが、マイボトルを利用することで、プラスチックごみを減らすことができます。また、リサイクル製品を購入することは、省資源やごみの削減、環境汚染防止につながり、これもエシカル消費といえます。【これはAB両方とも正解!】

問 4 午前中の仕事を終えて、お楽しみのランチ! 2つのお弁当があるけど、どっちを食べようかな.....

A  食事にはお金をかけたくないから... とっても安い! お財布にやさしいお弁当

B  地元の食材をたっぷり使ったお弁当

答 地元で収穫された野菜やお米を購入する、いわゆる地産・地消はエシカル消費の一つです。普段から地元産の商品を積極的に購入される方は、知らない間にエシカルな買物をしていただいけませんね。また、福祉施設で作られたお弁当などを買うことも、エシカル消費の一つなのです! 【正解はB】

問 5 明日は休日、部屋のお掃除をしよう。不用品がたくさん出そうだけど、どうしよう。

A  フリーマーケットに出品。他の誰かに買ってもらって、お小遣いGET!! まだまだ使える! 安くときますよ!

B  ええい! 思い切って捨てちゃおう! 断捨離!!

答 まだ使用できるけど自分にとって不要なものをフリーマーケットに出品し、新たな人に使ってもらうことで、ごみを出さず、限られた資源を有効活用できます。何かを購入する際、リサイクルショップを利用することもエシカル消費ですね。【正解はA】

何問正解できたかな...?

山口県での「エシカル消費」への取組

「倫理的消費(エシカル消費)」普及・啓発シンポジウム 「エシカル・ラボ in 山口」を開催

エシカル消費の概念の普及・啓発を目的として、消費者庁と山口県の主催により、「エシカル・ラボ in 山口」を開催しました。「エシカル・ラボ」は、平成27年に第1回が東京都で開催され、その後、徳島県、鳥取県、秋田県で開催されており、本県での開催が都道府県レベルでは5番目となります。当日は、県内でエシカル消費に取り組む方の発表などの後、村岡副知事が「山口エシカル宣言」を行いました。

- 開催日** 平成30年10月20日(土)
- 会場** セントコア山口(山口市湯田温泉)
- 主催** 消費者庁、山口県
- 後援** 環境省、農林水産省、文部科学省
- 参加者** 約150人



山口エシカル宣言

ここ山口は、国内外に誇れる産業の集積や優れた立地環境、素晴らしい観光資源や農林水産資源、そして豊かな自然、輝く歴史や文化など、多くの魅力に溢れており、これらを後世にしっかりと引き継いでいく必要があります。

一方、直面する人口減少問題の克服をはじめとする様々な困難をはね返し、活力ある、県民誰もが将来に希望を持って、いつまでも安心して暮らし続けることができる県づくりに全力を挙げて取り組んでいく必要があります。

こうした取組を着実に進めていく上で、県民の一人ひとりが社会的な課題を認識し、課題解決に向けた行動をすることが重要です。特に、普段の生活の中で、人や社会、環境に配慮した消費行動、いわゆる「エシカル消費」に気づき、取り組むことが最初の大きな第一歩となります。

今年は、明治改元から150年という大きな節目の年です。150年前、我々の先人たちは、「志」と「行動力」により、大変な苦難を乗り越え、明治維新、そして、極めて短期間で近代化を成し遂げました。

今こそ私たちは、先人たちに学び、この困難を突破し、未来を切り拓いていかなければなりません。

明治改元150年の今年、「維新胎動の地 山口県」において、「私たちの消費行動で世界の未来を変えていく」という高い「志」を持ち、エシカル消費の推進に新たにチャレンジしていくことをここに宣言します。

山口県庁で実施している 主な「エシカル消費」の例

- レジ袋削減の推進**
山口県容器包装廃棄物削減推進協議会によるマイバッグ運動等の啓発。
- グリーン購入の推進**
県庁における環境負荷の低減に資する製品等の調達を推進するため、「山口県グリーン購入の推進方針」及び「山口県グリーン購入ガイド」を定め、毎年実績を集計し公表。
- 地産・地消の取組**
県内の身近な農林水産物を県内で消費する取組。

- 食品ロス削減の推進**
山口県食品ロス削減推進協議会の「やまぐち食べきり運動」による、食べ残し削減等の啓発。
- ふしの干潟いきもの募金**
権野川河口干潟等の自然再生を進めるため、生態系サービスを活用した寄附付き商品、イベント参加費への寄附額の付加等により、募金活動を実施。
- 授産製品販売会の開催**
障害者就労施設の収益向上に向けた販路拡大を目的として、授産製品の販売会を実施。



県内の団体等における「エシカル消費」の取組例

生活協同組合 コープやまぐち

環境に優しい商品の取扱いと 利用普及

取組始期 / 昭和40年代頃～

環境汚染問題が表面化した頃から洗剤や家庭用雑貨品等、地球環境に配慮した商品の開発や取扱いを行っています。近年では、持続可能な漁業を推奨する団体「MSC(海洋管理協議会)」や地球環境保全のために熱帯雨林の維持を目的に設立された団体「レインフォレスト・アライアンス」の認証商品等の取扱いと普及を行っています。



特定非営利活動法人 フードバンク山口

「もったいない」を「ありがとう」へ 変えるしくみづくり

取組始期 / 平成26年3月～

食品ロスは消費者の消費行動が原因となって発生することもあります。フードバンク山口は食品を必要な分だけ消費し、できるだけムダにしないライフスタイルの普及啓発を実施するとともに、ムダになっている食品を食の支援を必要としている方に配布し、困難な状況にいる方々の自立を支援することで格差の縮小を図っています。



フードバンク山口活動時集合写真

山口県立大学公認サークル YPU TFT Project

世界の食の不均衡の是正

取組始期 / 平成21年4月～

世界の食の不均衡を解消するため、ヘルシーなTFT(Table For Two)メニューの販売などを通じて、途上国の給食として1食につき20円の寄附を行うNPO法人Table for Two Internationalの学生支部。大学の食堂や売店などでのオリジナルランチやフェアトレードチョコレートなどの販売、支援国の一つであるフィリピンの小学生との交流などに取り組んでいます。



TFTフィリピンスタディツアー [左] 支援小学校の子どもたちの記念写真 [右] 支援小学校の子どもたちの給食風景

山口県地域消費者団体 連絡協議会

花に産地表示を!

取組始期 / 平成24年～

花には他の農産物のような産地表示が無く、消費者は花の産地を選ぶことができません。そこで、県産花きの地産・地消の推進に向けた取組を支援するため、山口県花き園芸推進協議会などと連携して平成30年度に県産花きのラベルを作成しました。今後は、全ての県産花きへの表示を目指して活動してまいります。



県産花きのラベル



花の産地・地消表示啓発チラシ

※ここに掲載したものの以外にも、様々な団体等で取組が行われています。